学校番号	3022

令和２年度　芸術科　（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」（光村図書出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典や現代の書から様々な書体・書風を体験し、自分らしい文字を書くことが出来るようになることを目指します。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

２　学習の到達目標

・古典や現代の書の学習を通して、基礎的な表現技術と鑑賞力を習得する
・生涯にわたり、書を愛好する心情を育てるとともに書の伝統と文化について理解を深める

３　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a．書への関心・意欲・態度	b.書表現の構想と工夫	c．創造的な書表現の技能	d．鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・観察 ・ワークシート	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・ワークシート ・提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習活動

学期	単元・題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元（題材）の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	漢字の書 作品制作	書写から書道 書体の変遷 楷書の学習 扇子制作及び批評会	○ ○	○	○ ○	○	a.書写と書道の類似点・相違点について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b.楷書の美と基本的な用筆法を理解し表現を工夫している c.基本的な用筆方法を生かした書表現ができている。 d.互いの作品の良い点と改善点を発表し、多様な見方を知り、今後の意欲につながっている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品
2学期	漢字の書 篆刻 作品制作	隷書の学習 篆書･篆刻の学習 行書の学習 草書の学習 ハガキ作品制作及び批評会	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	a.各書体の美と篆刻の表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b.各書体や篆刻の表現技法を理解し、表現を工夫している。 c.各書体の用筆法や篆刻の技法を身につけ表している。 d.暮らしの中に書を生かすことを理解し、その良さや美しさを味わっている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品
3学期	仮名 漢字かな交じり書へ	仮名の学習 漢字かな交じり書 色紙作品制作及び批評会	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	a.仮名の伝統美や漢字かな交じり書の現代的な美しさに関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b.仮名の用筆法や漢字かな交じり書の多様な表現を理解し、工夫している。 c.仮名や漢字かな交じり書の表現方法を身に着け表している。 d.漢字とかなの調和を理解し、その良さや美しさを味わっている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品

※表中の観点について　a.書への関心・意欲・態度　b.書表現の構想と工夫
c.創造的な書表現の技能　d.鑑賞の能力

※年間指導計画作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点について○を付けている。